

三中だより

令和2年度 6月号



令和2年6月17日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No. 2)
校長 小柴 憲一

分散登校時のご協力に感謝申し上げます

今月に入って先週までの2週間、分散登校という変則的な登校となり、お子さんが登校する日なのかしない日なのか、あるいは、明日はお昼を準備する日なのかしない日のかなど、今までにはない煩雑さがあったかと思います。

また、1週目は、お子さんが「朝からの登校はやだな」とか、逆に「午前中に学校終わらせた方がいいや」など、午前登校の日と、午後登校の日とでお子さんのモチベーションの変化にご対応いただき、ご苦勞をおかけしました。

さらに、学校生活に順応することができなかつたり、生活リズムが崩れてしまっていたり、学校生活再開のストレスが体調に表れたりした生徒は、登校後不調を訴えることがあり、保護者の方に迎えに来ていただくなどのご協力もいただきました。

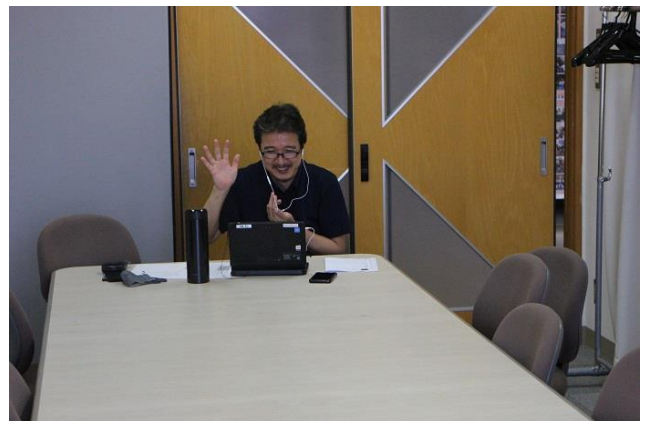
多くの保護者の方のご心配・ご苦勞・ご協力のおかげで、何とか2週間は無事に過ごすことができました。生徒たちは、「登校してまず手洗い」が定着し、授業中の発声も抑えることができるようになりました。また、給食の準備から片付けまでについても、教員からの指導により手洗い・エプロン着用・離席しない・いただきますまでマスクを外さない等、感染予防のための行動をとることができました。ただし、休み時間や下校時などは近距離で大きい声で会話をしてしまったり、接触してしまったりすることがあり課題も残りました。





また、試行ではありますが、Zoom アプリを使った短い学級活動にも保護者の方にご協力いただきました。アプリのインストール、会議への参加など、不慣れな生徒に対しては横で保護者の方がご支援されている様子も少し見える場面があり、大変ありがたいことだと感じました。また、この試行に当たりましては、八坂PTA会長様からも技術的なご支援をいただき、ありがとうございました。

3年⇒1年⇒2年の順番で試行しましたが、本校のネットワーク環境で、1度に2台のPCのZoomを起動し、合計40名を集めて会議をする分には、動作上は問題ないことが分かりました。もし、今後、第2波により臨時休業となった場合は、今回の試行を生かして生徒たちと顔を合わせて様子を伺ったり、生徒同士がコミュニケーションをとる場を設定してあげたりするなど、活用範囲を考えていきたいと思えます。



<各学年、それぞれ工夫しており、教員がパフォーマンスする場面もありました>

学校の生徒用タブレットPCの自宅での活用

臨時休業期間途中から分散登校中まで、学習するためのPC等が整っていないご家庭を対象に、貸し出しに伴う留意事項にご同意いただき、貸出申込書の提出をもって「保護者の責任のもと使用させる」ことに誓約いただいた場合に、生徒用タブレットPCを貸し出しました。分散登校が終了いたしましたので、一端回収いたしました。荒川区教育委員会では、今後オンライン教材を自宅でやりたくてもできない生徒のために、学校の生徒用タブレットPCを積極的に貸し出していく方針に転換しました。また、保護者がPCをお子さんに貸していたため保護者の仕事に支障が生じる場合や、姉妹・兄弟がいて常に誰かはPCの使用を待ってなければならない場合なども含めて、裾野を広げて貸し出していくこととしております。ただし、自宅に置いたままにするわけではありません。学校でも生徒用タブレットPCを使用しますので、教科書・ノートなどと同じように持ち物として持参することになります。つきましては、今後本校からもご案内をいたしますが、貸し出すに当たりましては以下のことが条件となっております。

- オンライン教材(本校ではeラーニング)に取り組むことが第一の目的であるため、eラーニングの学習履歴が着実に伸びること
- 家庭に持ち帰ったときのインターネットへの接続、学校に持ってきたときの端末のフルスキャン(1時間程度かかるということです)を生徒自身が行えるよう、技能を高めること
- 貸し出しに伴う留意事項に保護者の方がご同意いただくこと
- 貸出申込書の提出をもって「保護者の責任のもと使用させる」ことに誓約いただくこと

なお、本校では5月13日に、生徒一人一人に、eラーニングのID・パスワードを発行いたしました。その後、自宅におけるeラーニングへの取り組みが始まったことと思いますが、5月(約半月)の学習回数・学習時間について、各学年で最も取り組んだ生徒のデータは以下のとおりです。

<5月分集計表から>

	学習回数	学習時間
1年生のAさん	229回	162分
2年生のBさん	209回	199分
3年生のCさん	151回	243分

1年生から3年生にかけて、学習回数は減るが、学習時間が長くなるということは、学年が上がるとつれて1回にかかる学習時間が長くなるということだと思えます。

教員用のID・パスワードでログインすると、誰がどのくらい取り組んだかだけでなく、どの教科の何を学習したか、正答の状況はどうか、最後に学習したのはいつかなど、あらゆる学習履歴を把握することができます。

全員登校始まる

6月15日(月)から、全員登校となりました。

初日の朝は、全校朝礼がありましたので、放送による校長講話ではありますが、以下の内容を話しました。

おはようございます。校長の小柴です。

本日より、全員登校となり最初の全校朝礼ですが、放送朝礼である理由は分かっていると思います。そこで、私からは2点お話しします。

1点目です。

全員登校となりましたが、通常に戻ったわけではありません。そもそも、「通常」という用語を使うときは十分注意しなければなりません。使う方は、「今、この状況での通常」という意味で使っているかもしれませんが、受け取る方

は「かつての通常」つまり「新型コロナウイルス感染症が拡大する前の昔の通常」と受け止めるかもしれないからです。

今は、「かつての通常」は存在しません。ですから似たような表現として「日常が戻ってきた」「普通の生活ができるようになった」なども、皆さんは、あくまでも「今の新たな日常になった」「今の新しい生活様式による生活ができるようになった」と理解するようにしてください。

そうやって、テレビなどを見ていると、街頭インタビューなどで誤解を招く恐れのある表現が使われるときがあることに気付くと思います。そんなときは、「あっ、こんな表現をしたら、国民の中には『もう大丈夫なんだな』と思う人が出てくるだろうな」とメディアの発信を冷静に受け止められるようになってください。

プロのスポーツ競技などもテレビで放送されるようになり、あたかも1年前の生活にいるような錯覚に陥りそうなきがあると思いますが、今の自分が置かれた状況を忘れないようにしてください。

2点目です。

教室の中を見ると、先週までと違って、大勢になったと思います。距離が近くなったと思います。先週までのように、半分の人数であれば、先生たちも皆さん一人一人への気配りやこまめな衛生管理もできましたが、それも限界が出てきます。

つまり、皆さん一人一人が自分で自分の管理ができるようにならなければならないということです。

- ちょっと熱っぽいから学校に行くのは控えよう
- 狭い部屋にたくさん人がいるからマスクは外さずしゃべらないようにして、早く出るようにしましょう
- ちょっと距離が近いから、もう少し距離をあけて会話しよう
- 顔を触りたいけど手を洗ってからにしよう
- 友達に物を貸してあげたいけど、今の日常では貸さないほうが親切だ

など、先生たちの目が行き届かないところで、自分の判断で、新たな日常を実践していくことが、今の自立であり、皆さんに求められることです。

今週は、まだ給食の準備も時間がかからず、放課後の清掃などありません。なぜなら、皆さんがこの人数の中で、自分を管理する能力を身に付け実践する1週間だからです。

皆さんのメディアの発信を冷静に受け止める態度、衛生上自分の行動を管理できる実践力が身に付くことを期待して、私の話を終わります。



<上段:朝の様子、中段:休み時間の様子、下段:昼食時の様子>